

平成 27 年度 日露青年交流事業
「日露学生フォーラム 2015」 参加者募集

日露青年交流センターは、1999 年に日露両国で締結された政府間協定によって設置された日露青年交流委員会の事務局として、両国間の国民レベルの人的交流拡充や相互理解に基づいた将来の日露関係を担う若き人材の育成を目的に事業を行っております。

このたび、筑波大学との共催により、第 7 回日露学生フォーラムを実施することになりました。次代を担う日本とロシアの大学生が両国に共通する様々な問題について率直な議論を行うことにより、未来志向の日露関係を作り上げていくことに貢献したいと思います。

下記のとおり、本フォーラムの日本側参加者を募集いたします。

記

1. 「日露学生フォーラム 2015」 事業概要

(1) 実施期間

平成 27 年 12 月 2 日（水）～12 月 5 日（土）

(2) 実施場所

筑波大学（茨城県つくば市天王台 1-1-1）電話：029-853-4251

URL: http://www.tsukuba.ac.jp/access/tsukuba_access.html

(3) 参加者

日本人学生 30 名（筑波大学学生 15 名、全国公募学生 15 名）

ロシア人学生 30 名（ロシア全土で選抜）

(4) 主催

○日露青年交流センター

（Japan-Russia Youth Exchange Center）

○国立大学法人 筑波大学

（Tsukuba University）

(5) 日程（予定）

12 月 2 日（水）（午後）筑波大学に集合、オリエンテーション（つくば市泊）

12 月 3 日（木）学生フォーラム

開会式

全体会議

分科会

レセプション（つくば市泊）

12 月 4 日（金）（午前）総括会議

閉会式

文化プログラム

伊豆へ移動

日露学生交流会

12 月 5 日（土）（午前）近郊視察（日露関係ゆかりの地）

（午後）解散

(6) 学生会議

① 会議の内容

- 全体テーマ「これからの日本とロシア ～過去を踏まえ、現在（いま）を生き、未来へとつなぐ～」

General theme

“Japan and Russia from now on: learning from the past, living the present and planning the future”

○ 分科会テーマ

A.イノベーション分野での協力

医療、IT、ロボティクス、農業等におけるイノベーション（技術革新）による産業構造のパラダイム転換が急速に進む現代。日露双方の社会には、どのようなイノベーションの芽があるのだろうか。また日露間でどのような協力が可能だろうか。

A.Cooperation through innovation

This is the age when technological innovations in medical care, IT, robotics, agriculture etc. rapidly bring about paradigm shift of industrial structures. In what areas seeds of innovation are likely to be offered by Japanese and Russian societies? What potential areas of mutual cooperation can be identified?

B. 地域再生を通じた二国間協力

日露の国交を開いた最初の条約ー日露通好条約ーから 160 周年を迎えた本年。両国が共に抱える「地域再生」という問題をとおして、双方の国民が国際社会で共生し、貢献していく道を模索するには、どのような手段が考えられるか。

B.Regional renaissance

The year 2015 celebrates the 160th anniversary of the first treaty of diplomatic relations between the two countries, “Treaty of Commerce, Navigation and Delimitation between Russia and Japan”. Considering an issue of regional renaissance, which is of mutual importance to both countries, what methods can be suggested for better coexistence in the age of the internationalization of our societies?

C. 世界のスポーツ文化への貢献

2018 年にはロシアでサッカーW 杯が、2020 年には日本で東京オリンピックが開催される。そのような中で、先端的な知識と高いマネジメント能力を備えた 21 世紀の国際スポーツ界を担う人材を育成するために、日露両国はどのように協力し、ともに発展していけるか。

C.Contribution to the culture of the world's sports

Currently Russian Federation is getting ready to host the FIFA World Cup 2018 and Japan is preparing for the Tokyo 2020 Olympic Games. The international world of sports of the 21st century requires professionals with exceptionally high management skills and advanced knowledge. How can Russia and Japan cooperate in order to contribute in fostering a new generation of such representative human resources?

② 会議の進め方

- ・ 全体会議 — 日露学生代表の基調報告
- ・ 分科会 — 上記テーマ別に 3 分科会に分かれて議論
- ・ 総括会議 — 各分科会の発表

会議での使用言語：英語

(7) 費用負担

日露青年交流センター負担：日本国内の交通費（事前勉強会、フォーラム参加のために必要な交通費、プログラム中の移動費）、プログラム中の食費、宿泊費、旅行保険

上記以外の費用は参加者負担となります。

2. 参加応募要領

(1) 募集人員

15 名

(筑波大学の参加希望者は、下記担当者にお問い合わせください)

筑波大学

大学の世界展開力強化事業（ロシア）

ロシア語圏諸国を対象とした産業界で活躍できる

マルチリンガル人材育成プログラム

〒305-8571 茨城県つくば市天王台 1-1-1 共同研究棟 A203

TEL: 029-853-4251

担当： 菱川邦俊（人文社会系 准教授）

メールアドレス： info@genis.jinsha.tsukuba.ac.jp

(2) 応募資格

以下の全てを満たす方：

- ① 日本国の国籍を有すること
- ② 大学の学部または大学院修士課程（博士課程前期）に在籍していること
- ③ 学生会議に主体的に参加し、テーマに関して積極的に議論ができる英語力を有すること
- ④ 事業の計画に従って規律ある団体行動ができること
- ⑤ ロシアに対して関心と理解があること
- ⑥ 事前勉強会（10月5日）に参加できること

※当センターが実施する派遣プログラムには原則として一度しか参加できませんが、今回は日本国内で実施しますので、これまでにロシアへの派遣プログラムに参加した方やこれから派遣プログラムへの参加を考えていらっしゃる方も応募することができます。

(3) 応募方法

応募は各自でお願い致します。

(ア) 提出書類

応募した方は、その旨を情報科学研究科教務係 (is-kyom@grp.tohoku.ac.jp) までお知らせください。

① 応募申請書

2 ページ目の小論文欄に、参加を希望する分科会のテーマ（第 1 希望）について、ご自分の考えを日本語で記述してください（1200 字程度）。

（なお人数の都合で、必ずしも第 1 希望の分科会に参加できないことがありますので、予めご了承下さい。）

② 学生証のコピー

※ 応募申請書は当センターのホームページ

（URL: <http://www.jrex.or.jp>）からダウンロードできます。

(イ) 提出先および提出方法

以下の宛先に郵送して下さい。

〒105-0003

東京都港区西新橋 1-17-14 西新橋エクセルアネックス 7 階

日露青年交流センター

「日露学生フォーラム 2015」担当宛

提出書類は返却しません。

(4) 応募締切

平成 27 年 7 月 24 日（金） 正午 必着

（５） 選考結果

平成 27 年 8 月 5 日（水）までに通知します。

（６） 事前勉強会

平成 27 年 10 月 5 日（月） 午後（都内会場、場所未定。交通費は実費を支給します。）

（７） その他

（ア）連絡は原則として電子メールで行います。

（イ）本事業は日露政府間協定に基づく青年交流事業であり、事業報告や事業に係る写真・映像等を日露青年交流センターのホームページをはじめ各種媒体に掲載することがあります。

（８） お問い合わせ先

日露青年交流センター

日露学生フォーラム 2015 担当 大久保、岩城、清水

Tel : 03-3509-6001 Fax : 03-3509-6008

E-メール : okubo@jrex.or.jp; iwaki@jrex.or.jp; shimizu@jrex.or.jp

以上